

数理物質科学研究科

博士後期課程 社会人特別選抜（2月期）

（数学、物理学、化学、ナノサイエンス・ナノテクノロジー、電子・物理工学、物性・分子工学専攻）

出願から入学までのフローチャート



出願
資格審査に
合格した者

本学大学院で、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があるか否かを審査します。

出願期間

平成29年（2017年）1月5日～1月6日、及び1月10日必着
提出書類に不備があった場合は受理しません。

受験の際に特別な配慮を必要とする者

特別措置の申請

障害のある者で、受験の際に特別な配慮を必要とする者は平成28年（2016年）12月12日までに「所定の申請書、診断書、障害者手帳の写し」を提出してください。

受験票

平成29年（2017年）1月17日に発送します。

受験者心得

本学ホームページにて平成29年（2017年）1月18日に掲載します。

試験日程

平成29年（2017年）2月1日

<過去の入試問題公開状況はこちら>

注意

1. 社会人特別選抜に対する教育方法の特例については、こちらを参照してください。
2. 早期修了プログラムについては、こちらを参照してください。

【早期修了プログラムとは一定の研究業績や能力を有する社会人を対象に標準修業年限が3年である博士後期課程を最短1年で修了し課程博士号を取得するプログラムです。】

合格発表

平成29（2017年）2月17日

入学手続書類

平成29年（2017年）2月17日に発送します。

入学手続

平成29年（2017年）3月上旬

入 学

1. 募集人員

専攻	募集人員	備考
数学	若干名	
物理学	若干名	連携も出願が可能です。
化学	若干名	第2次募集 連携も出願が可能です。
ナノサイエンス・ナノテクノロジー	若干名	第2次募集 連携も出願が可能です。
電子・物理工学	若干名	連携も出願が可能です。
物性・分子工学	若干名	連携も出願が可能です。

- 連携に関しては、「14. 連携大学院方式」をご覧ください。

(注)

1. 入学の時期は4月入学となります。
2. 備考欄の連携の募集人員については、一般入学試験の募集人員のとおりです。
3. 一般入学試験を希望する者は、一般入学試験の募集要項をご覧ください。
4. 中国政府が定める「国家建設高水平大学公派研究生項目実施方法」に基づき、中国国外に派遣される大学院学生の受入を行なう外国人留学生の特別選抜を実施する際には、その定員は、博士後期課程（3年制博士課程）各専攻の内数で若干名とする。

2. 出願資格

次のいずれかに該当し、平成29年（2017年）3月までに常勤・非常勤を問わず1年以上の社会的経験（企業・官公庁・教育関係機関等での就業。家事従事等の経験含む。）を有する者又は有する見込みの者

- 修士の学位を有する者
- 専門職学位を有する者
- 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- 文部科学大臣の指定した者
- 本学の大学院において行う出願資格審査により修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、24歳に達した者及び平成29年（2017年）3月までに24歳に達する者
- その他

（詳細はこちらから：上記以外の出願資格及び出願資格審査の有無はここで確認してください）

3. 出願書類等

下記摘要欄及び願書等記入例 を参照し記入のうえ、提出してください。 出願書類
出願書類は、原本を提出してください（複写可と記載がある場合は除く）。

【本学所定様式】

書類等	提出該当者	摘要

1	入学願書	全員	所要事項を記入し、提出してください。
2	履歴書	全員 (外国人出願者を除く。)	所要事項を記入し、提出してください。
3	外国人出願者用履歴書	外国人出願者全員	所要事項を記入し、提出してください。
4	職歴調書	職歴のある者全員	所要事項を記入し、提出してください。
5	受験票・写真票	全員	所要事項を記入し、写真(出願前3か月以内に撮影した無帽上半身正面のもので、大きさは縦4cm×横3cm、同一の写真を使用)をはって、切り取り線に沿って切り取って提出してください。上記要件に合わない場合には、受理しません。
6	受付票	全員	所要事項を記入し、切り取り線に沿って切り取って提出してください。
7	論文題目票	論文等提出者	所要事項を記入し、提出する論文等のすべての表紙に添付してください。(複写可) また、当該論文等を入れる封筒にもはり付けて提出してください。
8	宛名シート①	全員	所要事項を記入し、提出してください。 合格者に合格通知書等を送付する際に使用します。
9	出願書類等提出明細票	全員	所要事項を記入し、提出してください。
10	宛名シート②	全員	封筒(角形2号)を各自で用意し、宛名シート②に所要事項を記入のうえ、封筒にはり付け、出願書類を入れて郵送(書留速達)または、持参してください。

【出願者が各自用意する証明書等】

	書類等	提出該当者	摘要
1	修了証明書(注)	全員(注)	本学大学院博士後期課程への出願資格を満たす大学等の修了証明書を提出してください(通常は修士の学位を取得した大学院(大学))。
2	学位取得証明書(注)	外国の大学を修了した者(注)	外国の大学院を修了した者は修士相当の学位を取得したことを証明する書類(学位取得証明書等)を提出してください。
3	成績証明書(注)	全員	本学大学院博士後期課程への出願資格を満たす大学等の成績証明書を提出してください(通常は修士の学位を取得した大学院(大学))。 なお、編入学等により認定されている科目がある場合には、編入学等前の成績証明書も併せて提出してください。
4	研究計画書	全員	入学後に研究しようとする内容及び計画について、氏名、研究課題目及び希望指導教員名を明記して提出してください(様式任意、A4判、縦置き、横書きで2,000字以内)。ただし、数理物質科学研究科物理学専攻志願者は、出願理由(本研究科または専攻を選んだ理由)を加えて作成してください。

5	論文	全員	次のいずれかを入学願書提出期限までに出願する専攻の事務室（「8.過去の入試問題公開状況」参照）あて提出してください。なお、提出の際には論文等及び論文等を入れる封筒（各自が用意）に「論文題目票」をはり付け提出してください。郵送の場合は、必ず郵便局で「書留」にして送付してください。（出願書類提出用の封筒には同封しないでください。） ① 修士論文（写し可） ② 昨年度以前の修了者は、新しい論文（写し可）をもって①に代えることができます。 ③ 修士論文を課せられていない者は、それに準ずる論文 ④ 文部科学大臣の指定した者(出願資格(8)) で出願する者は卒業論文（写し可）。（卒業論文を課せられていない者は、それに準ずる論文）
6	論文等要旨	論文等提出者の該当者	日本語又は英語以外の言語で書かれた論文を提出する場合は、日本語(4,000字程度)又は英語(1,500語程度)の要旨を、論文等を入れる封筒に同封し提出してください。
7	受験承認書 (様式任意)	該当者	① 現に大学・大学院等に在学している者（平成29年（2017年）3月卒業・修了見込みの者を除く。）は、当該大学等の長（所属長）による受験承認書（様式任意A4判）を提出してください。 ② 現に官公庁・学校・会社等に在職している者（非常勤、アルバイトを除く。）は、当該所属長による受験承認書（様式任意A4判）を提出してください。〔退職して入学する予定の者又は受験承認書の提出が困難な者は、本人がその旨明記した文書（申立書：押印必要）をもって、受験承認書に代えることができます。ただし、退職して入学する予定の者は、入学手続き時に「退職証明書」を提出してください。〕
8	国費留学生証明書 (様式任意)	外国人出願者の該当者	他大学に在籍している国費外国人留学生は、当該大学の発行する国費留学生証明書を提出してください。
9	返信用封筒 (切手362円分貼付)	全員	長形3号封筒を用意し、この封筒に志願者の郵便番号・住所・氏名を記入し、362円分の切手をはって提出してください。 〔受験票送付用〕

(注) 婚姻等により証明書と氏名が異なる場合は、戸籍抄本（写し可）を添付してください。

※出願書類により取得した個人情報及び試験成績の個人情報については、入学者選抜に関する業務に利用します。また、入学手続き完了者のうち、日本学生支援機構奨学金申請者に限っては選考の際の審査資料の一部に利用します。

4. 検定料

30,000円（国費外国人留学生を除く）

注) 検定料については、国費外国人留学生、及び平成29年（2017年）3月に本学大学院修士課程又は博士前期課程を修了し、引き続き本学大学院博士後期課程に進学する者は不要です。

所定の金融機関等からの払い込みとなります。

① 払込期間

平成28年（2016年）12月1日（木）から、出願期間に間に合うよう払い込みください。

② 払込場所

ア コンビニエンスストア（ローソン、ミニストップ、セブン-イレブン、ファミリーマート、サークルK、サンクスに限りません。）

イ 郵便局、銀行、信用金庫、農協（JA）などの金融機関受付窓口（ATM（現金自動預け払い機）から払い込みすることはできません。必ず金融機関の受付窓口から払い込みください。）

ウ 外国在住の方は、クレジットカード（VISA、MasterCard、JCB、AMERICAN EXPRESS）により払い込むことができます。

詳細は、本学ホームページをご覧ください。

<http://www.tsukuba.ac.jp/admission/graduate/shiharai.html>

③ 払込方法

コンビニエンスストアを利用する場合は、PCまたは携帯電話で専用サイト上から申し込み、情報端末等（店舗により異なります。）を使用して払い込みます。

金融機関（郵便局、銀行、信用金庫、農協など）を利用する場合は、本学指定の払込用紙（5枚綴りの専用紙）を使用し、金融機関窓口から筑波大学の指定口座宛に払い込みます。別途「払込用紙」を※郵送又は来校して入手してください。

*長形3号封筒を用意し、この封筒に返信用郵便番号・住所・氏名を記入し、82円切手をはったものと、「払込用紙希望」の旨のメモを同封し、下記に郵送してください。

〒 305-8577

茨城県つくば市天王台1丁目1番地の1

筑波大学教育推進部教育推進課大学院入試

【コンビニエンスストアの場合】

ア PC又は携帯電話Web上の専用ホームページ、店内にある情報端末を利用して払い込みますので、払込用紙は使用しません。

イ 実際の操作の手順については、別紙の案内書「コンビニエンスストアでの検定料払込方法」を参照して払い込みください。

コンビニエンスストアでの検定料払込方法（PDF）

ウ 払込手数料は、入学志願者本人の負担となります。

【郵便局の場合】

ア 本学所定の払込用紙（5枚綴りの専用紙）を利用し、各票の「払込人」欄（※印の欄）に、入学志願者（本人に限る）の住所・氏名（英字・漢字ともに必ずフリガナを付す）及び電話番号を黒又は青のボールペンで正確に記入してください。また、払込取扱票（振込通知書）には、出願する研究科名も記入してください。

イ 払込用紙に検定料30,000円を添え、窓口に納めてください。

ウ 「郵便振替払込金受領証」及び「郵便振替払込受付証明書」を受付窓口から受け取る際には、「受付局日附印」が押されていることを確認してください。

エ 払込手数料は、入学志願者本人の負担となります。

【郵便局以外の金融機関の場合】

ア 郵便局以外の金融機関から筑波大学の指定金融機関（三菱東京UFJ銀行または常陽銀行。払込用紙の裏面を参照）の口座宛に払い込む場合は、本学所定の払込用紙（5枚綴りの専用紙）を利用し、各票の「払込人」欄（※印の欄）に、入学志願者（本人に限る）の住所、氏名（英字・漢字ともに必ずフリガナを付す）及び電話番号を黒又は青のボールペンで正確に記入してください。また、払込取扱票（振込通知書）には、出願する研究科名も記入してください。

イ 各票の「振込先」欄に、銀行名（三菱東京UFJ銀行または常陽銀行。払込用紙の裏面を参照）欄に応じて支店名、口座番号をそれぞれ記入してください。

ウ 払込用紙に検定料30,000円を添え、窓口に納めてください。

エ 「郵便振替払込金受領証」及び「郵便振替払込受付証明書」を受付窓口から受け取る際には、「受付局日附印」が押されていることを確認してください。

オ 払込手数料は、入学志願者本人の負担となります。

④ 「検定料収納証明書（収納印不要）」（コンビニ払込）又は「受付局日附印」が押された「郵便振替払込受付証明書」（金融機関払込）を入学願書の所定欄にはり付けてください。

「検定料収納証明書」又は「受付局日附印」が押された「郵便振替払込受付証明書」が所定欄にはり付けられていない場合は、出願書類を受理しません。

5. 出願方法

(1) 入学志願者は、出願書類を取りそろえ、出願書類等提出明細票で確認のうえ、下記(2)の出願期間中に下記(3)受付場所に持参するか、又は郵便局で書留・速達にして教育推進部教育推進課あて郵送（必着）してください。

なお、提出（持参または郵送）にあたっては、本学所定の宛名シート②に所要事項を記入し、提出する封筒にはり付けてください。

(2) 出願書類の受付期間

平成29年（2017年）1月5日（木）～1月6日（金）、及び1月10日（火）9時～15時（昼休み12時～13時）

（持参、郵送とも期間内に必着のこと。期間終了後到着分は受理しません。）

(3) 受付場所

筑波大学 本部棟高層棟8階会議室（最寄りバス停：筑波大学中央）

〒305-8577 茨城県つくば市天王台1丁目1番地の1

受付場所周辺地図URL：http://www.tsukuba.ac.jp/access/map_central.html

(4) 出願書類を受理したときは、1月17日（火）に「受験票」を送付します。

なお、1月24日（火）までに受験票が到着しないときは、教育推進部教育推進課に照会してください。

(5) 出願にあたっての注意事項

- ① 提出書類が不足していたり、記載事項に不備がある場合には、出願書類を受理しないことがありますので、提出前によく確認してください。
- ② 出願後の志望研究科又は専攻の変更は認めません。
- ③ 出願書類及び既納の検定料は、返還しません。

(注)出願に当たり、カリキュラム、研究指導分野等について不明な点がある場合は、「8.過去の入試問題公開状況」の問い合わせ先まで連絡してください。

6. 選抜方法等

○選抜方法

提出書類及び学力検査の結果を総合的に判定し、入学候補者を決定します。

○学力検査日程・試験科目等

次の日程のとおり実施します。

数理物質科学研究科

月日		2月1日（水）
科目		口述試験（200点）
専攻	時間	10：00～17：00
数 学		個別面接。修士論文または修士論文に向けた研究に関する発表（質疑応答を含めて30分程度）をしてもらうので、受験生は準備をして口述試験に臨んでください。プロジェクターまたは黒板の使用が可能です。発表時にアブストラクト（講演要旨）の配付を希望する受験生は20部用意してください。
物理学		個別面接。修士論文またはそれと同等と認められる研究内容に関する発表と質疑応答を30分程度行います。プロジェクターが使用できます。

化 学	個別面接。修士論文またはそれと同等と認められる研究内容につきプロジェクターを用いて30分程度の発表及び質疑応答を行う。（OHPも使用可。その場合は、事前に専攻長まで連絡すること。）
ナノサイエンス・ ナノテクノロジー	個別面接。修士論文またはそれと同等と認められる研究内容につきプロジェクターまたはOHPを用いて30分程度の発表および質疑応答を行う。
電子・物理工学	個別面接。修士論文又はそれと同等と認められる研究内容につきプロジェクターを用いて、発表（15分）及び質疑応答（15分）を行う。
物性・分子工学	個別面接。修士論文またはそれと同等と認められる研究内容につきプロジェクターを用いて15分程度の発表及び質疑応答を行う。

○学力検査等の試験場

筑波大学（茨城県つくば市天王台1丁目1番地の1）

〔詳細については、「10.受験についての注意事項等」の「受験者心得」をご覧ください。〕

7. 合格発表・入学手続

○合格発表

平成29年（2017年）2月17日（金）10時

本学本部棟南駐車場（中央口案内センター隣接）に設置した 掲示板に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には、合格通知書を同日「書留」にて発送します。

○入学手続

(1) 合格者には、入学手続案内（入学に際して必要な提出書類が同封されています。）を平成29年（2017年）2月17日（金）に発送しますので、これに従って入学手続をとってください。

なお、その際有職者（非常勤、アルバイトを除く。）については、任命権者が発行する書類（研修命令書、休職証明書、就学承認書等のいずれか）を併せて提出してください。

(2) 入学時に必要な経費

- ① 入学料 282,000円（入学手続の際納付した入学料は、返還いたしません。）
- ② 授業料 第1期分(4月～9月分)267,900円
第2期分(10月～3月分)267,900円（年額535,800円）

(注)

1. 入学時及び在学中に、学生納付金の改定が行われた場合は、改定時から新たな納付金額が適用されます。
2. 入学料については、国費外国人留学生、及び平成29年（2017年）3月に本学大学院修士課程又は博士前期課程を修了し、引き続き本学大学院博士後期課程に進学する者は不要です。

(3) 外国籍の方は、入学手続き時までに「出入国管理及び難民認定法」(昭和26年政令第319号)に基づき、大学院入学に支障のない在留資格を得てください。

なお、本学に外国人留学生として入学を希望する者は必ず「留学」の在留資格を得てください。

8. 過去の入試問題公開状況

研究科（専攻）	閲覧	コピー	郵送	問い合わせ先	電話（直通）

数理物質科学				数理物質科学研究科事務室	029(853)7296	
専攻	数学	-	-	-	理学系事務室（数学専攻）	029(853)4235
	物理学	-	-	-	理学系事務室（物理学専攻）	029(853)4277
	化学	-	-	-	理学系事務室（化学専攻）	029(853)6505
	ナノサイエンス・ナノテクノロジー	-	-	-	ナノサイエンス・ナノテクノロジー専攻事務室	029(853)4776
	電子・物理工学	-	-	-	工学系事務室（電子・物理工学専攻）	029(853)5443
	物性・分子工学	-	-	-	工学系事務室（物性・分子工学専攻）	029(853)5443

(注) 口述試験のみ実施のため、公表している入試問題はありません。

9. 受験の際に特別な配慮を必要とする者

障害のある者で、受験の際に特別な配慮を必要とする者は、平成28年（2016年）12月12日（月）までに「所定の申請書、診断書、障害者手帳の写し」を教育推進部教育推進課へ提出してください。

特別な配慮の例

- ・ 時間延長、別室受験、着席場所の指定など
- ・ 点字による受験など
- ・ 筆記のためのパソコン、視覚補助具、補聴器など特別な道具の持ち込み・使用など
- ・ 手話通訳などの特別な要員の必要性など

これらを希望する場合には、その状態を証明できる診断書等の提出が必要になります。

10. 受験についての注意事項等

受験についての注意事項が記された「受験者心得」を一読し、その指示に従って受験してください。

受験者心得は、本学ホームページにて平成29（2017年）1月18日（水）に掲載します。

11. 問い合わせ先

学生募集に関し、不明な点等がある場合には、次まで照会してください。

〒305-8577 茨城県つくば市天王台1丁目1番地の1
 筑波大学教育推進部教育推進課大学院入試
 電話 029(853)2230・2231
 取扱日及び時間：月～金曜日の9時から12時15分、13時15分から17時
 【ただし、休日（国民の祝日、振替休日）を除く。】

12. 大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例について

特例による教育について

科学技術の進歩や社会の複雑高度化に伴い、大学院における社会人の再教育の要請が著しく、このため大学院設置基準第14条は、「大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。」旨規定しています。

本学の大学院修士課程、博士課程では、これまで高度な専門職業人の養成と有職者の再教育について多くの実績を挙げてきましたが、更に多くの有望な社会人が在職のまま大学院の教育を受け、教育研究及び実践上の指導的役割を果たし得る学識と能力を培う機会を得ることができるようこの第14条を適用して昼夜開講制を実施し、教育、研究活動の充実を図っています。

履修方法

上記特例の適用を受ける者の履修方法は、次のとおりです。

数理物質科学研究科

1. 標準修業年限3年のうち、開設する授業科目から各専攻の定める必要単位を修得してください。
2. 当該年度の当初に、あらかじめ指導教員と研究科長に履修計画書を提出し承認を受けてください。

13.数理物質科学研究科博士後期課程早期修了プログラムについて

筑波大学大学院数理物質科学研究科博士後期課程では、平成19年度入学者から、早期修了を希望する社会人の方を応援する体制を整えました。早期修了は、通常3年かかるところを最短1年で修了することが可能ですが、1年での修了を約束するものではありません。一定の研究業績や能力を有する社会人が対象であり、最短1年で修了できるよう、頑張る方を最大限応援していきたいというものです。本学では、これを早期修了プログラムと称しています。

1. 対象

本研究科における研究領域と関連した研究業績を有する社会人で、早期修了により課程博士の取得を希望する方とします。

2. 早期修了プログラムの希望者の提出書類

早期修了を希望する方には、入学試験に合格後、以下の1)～4)の書類(調書)を提出していただきます。手続については、合格通知書と一緒にお知らせいたします。

- 1) 早期修了希望者調書(最終学歴における専門分野、業務内容と志望分野の関係等)
- 2) 業績リスト(査読付き学术论文、口頭発表資料、その他)

なお、申請要件となる専攻別の査読付き学术论文及び学会等での口頭発表の件数を、以下の表に示します。

専攻	査読付き学术论文	学会・研究会での口頭発表
数学	論文2編以上(国際学術誌に掲載済み、または掲載を認められたもの。1編は単著であること。)	発表数は問わない
物理学	論文3編以上(国際学術誌に掲載済み、または掲載を認められたもの。)	発表数は問わない
化学	筆頭著者の論文あるいは貢献度の高い論文、合わせて3編以上(国際学術誌(査読付き国際会議論文を含む)に掲載済み、または掲載を認められたもの。)	発表数は問わない
ナノサイエンス・ナノテクノロジー	筆頭著者の論文あるいは貢献度の高い論文、合わせて3編以上(国際学術誌(査読付き国際会議論文を含む)に掲載済み、または掲載を認められたもの。)	発表数は問わない
電子・物理工学	論文3編以上(国際学術誌に掲載済み、または掲載を認められたもの。筆頭著者に限る。)	発表数は問わない
物性・分子工学	論文3編以上(国際学術誌に掲載済み、または掲載を認められたもの。筆頭著者に限る。)	発表数は問わない
物質・材料工学	論文4編以上(国際学術誌に掲載済み、または掲載を認められたもの。筆頭著者に限る。)	発表数は問わない

3) 自己評価書

- 4) 博士論文の構想(A4判2～4枚程度、書式自由、課題や関連分野の調査を含む)

3. 早期修了プログラム履修の適用について

上記2の資料を基に、必要に応じて面接を行い、本プログラムの適用を審査いたします。申請手続等案内については、合格通知書と一緒に送付いたします。

4. その他

本プログラムを志願する方は、希望する指導教員に予めその旨を申し出て、十分に話し合ってください。

14. 連携大学院方式

近年の科学技術の急速な発展と高度化に伴い、研究分野の細分化、専門化が進む一方、従来の学問体系を越えて新しい境界領域が開拓され、学際的な研究が推進されるようになりました。

特に、基礎から応用分野に係る広い範囲の知識を必要とする学際研究では、専門分野を異にする研究者間の協力による総合的な研究が重要となっており、また、これに対応する、時代に即した新しい型の研究者育成が強く求められています。

本方式は、これらの学問的、社会的要請に応えるため、筑波研究学園都市等にある多数の国立・独立行政法人・民間企業等の研究機関と連携を図り、その研究者を本学の教授（連携大学院、関係大学院）又は准教授（連携大学院、関係大学院）に任用し、最新の研究設備と機能を有する研究所において学生の研究指導を行い、教育・研究領域を多様化して大学院教育を活性化するとともに、これらの研究機関との交流を深めて新たな研究領域を確立することを目的としています。

（連合型連携大学院方式について）

現在の連携大学院方式の教育を担当する教員は、1グループ（3人）の全てが同一研究機関（企業等を含む。）から、任用されていますが、本研究科物理学専攻先進学際物理学分野で導入する連合型連携大学院の1グループは、複数の研究機関にまたがる連携教員（3人）と、研究機関と本学の仲立ちとして研究指導協力及び修学指導・学生生活支援を行うアンカー教員（本学の専任教員教授1人以上）とから構成されています。

このうち連携教員の教授または准教授1名を（主）指導教員、他の2名とアンカー教員を新たに（副）指導教員として複数指導体制をとり、現行の連携大学院方式による研究指導体制の更なる充実を図るものです。

本学側のアンカー教員は、（副）指導教員になりますが、従来のそれとは異なり、研究機関への派遣時期の調整をはじめとする、教育システム全体の管理を担います。連合型連携大学院の学生は、連携教員とアンカー教員が協議の上に作成したプログラムに基づき研究指導を受けることとなります。